

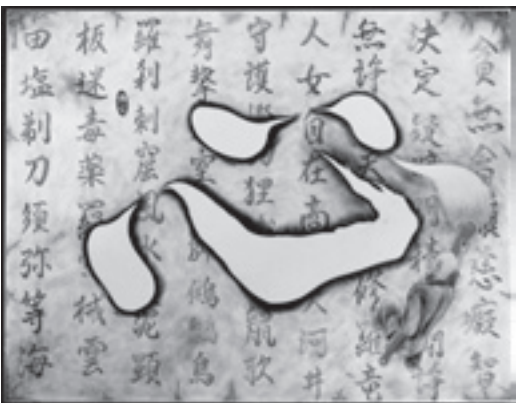
死刑囚 絵画展 2005年 2014年

「死刑廃止のための大道寺幸子基金」とは？

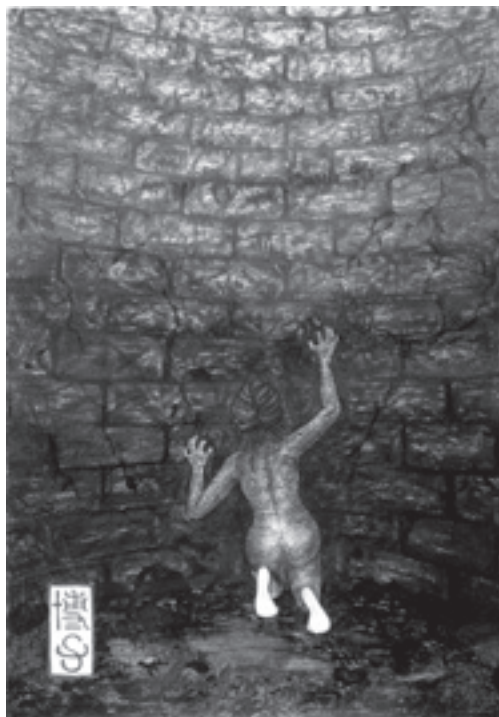
2004年5月12日に亡くなられた大道寺幸子さんは、生前多くの死刑囚や獄中者に面会し、励まし、生きて償う事を共に模索し、死刑囚の母として、社会、国際機関、メディアに対して、日本の死刑制度の実態、死刑囚処遇、死刑囚の人権について語り続けてきました。「死刑制度をなくしたい」「死刑囚の人権は保証されなければいけない」という幸子さんの遺志を生かすため、残された預金をもとに10年間という期間を決めてこの基金は創設されました。確定死刑囚の再審支援の補助金、死刑囚の表現展の開



「年越し菓子」2013年
藤井政安（1989年死刑確定）



「六十心」2013年
宮前一明（2005年死刑確定）



「潔白の罪」2010年（「無実という希望」と2枚組）
風間博子（2009年死刑確定）

催と優秀作品の顕彰のためにこの基金は使われています。9年間で34名の死刑囚から367点の絵画作品が、また文字作品も毎年多数応募され、そのうち5作品が単行本化されています。

死刑囚表現展の選考は、以下の方々によって行なわれています。

池田浩士（ドイツ文学者）／加賀乙彦（作家）／川村湊（文芸評論家）／北川フラム（アートディレクター）／坂上香（映像作家）／香山リカ（精神科医）／太田昌国（民族問題研究者）

死刑廃止のための大道寺幸子基金



「少女」2008年
金川 一（1990年死刑確定）



「神のなげきと救いの糸」2010年
北村孝紘（2011年死刑確定）

2014年公募作品は本年10月に公開します

世界死刑廃止デー企画
響かせあおう死刑廃止の声2014
四谷区民ホール（新宿区）
10月11日（土）午後1時から

応募作品の展示と選考委員によるシンポジウムも行います。
また10年目を迎えた基金、今後どうするかの方針も発表します。



「無題」2009年
謝 依佛（2012年死刑確定）

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-13 港合同法律事務所気付
TEL：03-3585-2331 FAX：03-3585-2330